

視聴覚教育

NO. 488

発行日

R06. 03. 01

発行

岡崎市 A V L

編集

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ 『CBT』

コンピュータを使って試験を行う方法。出題も解答も機器上で行う。動画などのメディアを用いた出題や解答過程の記録、採点の自動化なども可能。「事例で学ぶNetモラル」のネットモラル検定もその一種である。

視聴覚教育あれこれ

●自作視聴覚教材が完成しました

「おかげさまで映像教材研究会」制作の教材が完成しました。今年度は、理科教材が一本、社会科教材が二本、道徳科教材が一本、制作されました。いずれの教材も学習での使いやすさを考えて作られていますので、積極的に御活用ください。

●作品・班員の紹介

A班「青い地球 水はめぐる」

矢部貴司(竜海中) 杉山康子(常磐小) 酒井雄一(甲山中) 星野雄大(南中) 上嶋千暁(矢東小) 島田 豪(上地小) 河合賢也(美川中) 渡邊実咲(豊富小) 鈴木広樹(矢東小)

B班「受け継がれるまちづくり」

鈴木奈穂子(新香山中) 服部将也(豊富小) 山本悠司(矢北小) 畔柳 駿(城南小) 佐藤雄太(広幡小) 大塚真悟(恵田小) 浅井博規(梅園小) 峯澤泰季(井田小) 佐渡英彰(広幡小)

C班「古着からピーマン?」

青山夕菜(羽根小) 水野利明(矢作中) 青山将太郎(岩津中) 向 孝太(河合中) 小島 茜(六西小) 森 綾子(六美中) 土屋翔平(岩津小) 内田雅之(岡崎小)

D班「公園は誰のもの?」

岩川皓司(竜南中) 鈴木俊宏(男川小) 米澤和志(大門小) 廣藤静香(大門小) 長瀬太一(大樹寺小) 駒月 亮(六北小) 浅井悠輔(恵田小) 近藤雄一(大樹寺小)

適切で責任ある行動規範

羽根小学校 校長 岡 秀之

令和六年当初に石川県能登地方を震源とした地震が発生しました。亡くなられた方々には衷心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

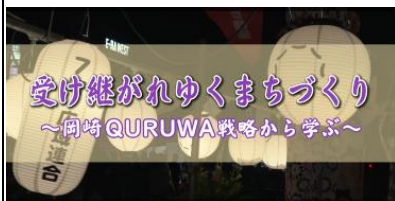
近頃、ニュース番組の映像で「視聴者提供」というテロップを頻繁に見るようになった。事実、能登半島地震や空港での航空機衝突事故故で、視聴者から提供された映像が、繰り返し放映されていた。これは、スマートフォンの個人所有率が八十%（令和五年総務省「通信利用動向調査」）に迫っているという背景と、撮影した映像をすぐにSNSへ投稿できる手軽さによるものだろう。特に能登半島地震では、報道機関のカメラが被災地にたどり着くことが難しかったため、視聴者提供の映像は、被災地の状況を知るために、とても有用な情報源となった。

逆に、不適切な動画がSNSに投稿され、大きな反響を呼ぶこともある。特に社会的話題になったのが、飲食店における「いたずら動画」

である。一部の者の不適切な行動によって多くの方に迷惑をかけただけに留まらず、「卓上調味料」が撤去されるなど、飲食店の姿そのものを変えてしまった。もしかすると、この不適切な動画投稿も、手軽に行われたのかもしれない。

誰でも手軽に動画投稿ができ、便利になった反面、誰もが危険と隣り合わせになった現在、このことを利用者が意識して活用していかなければならない。報道機関は、多くの人間の目で、様々な角度から検討された情報を発出する。対して、SNSへの投稿は、これらすべての責任を個人で負うことになる。現在、学校教育に求められているのは、情報リテラシーを含めて、「情報技術の利用に関する適切で責任ある行動規範」を児童・生徒に育てていくことである。人を育てることだから、手間と時間がかかるであろう。だからこそ、繰り返し情報のモラル教育が大切なのだ。今年度も道徳の自作ビデオ教材が制作された。また、「まなびポケット」から「事例で学ぶNetモラル」を立ち上げれば、いつでも情報モラルを学ぶことができる。環境は充実している。あとは、我々の実践あるのみ。

～作品の紹介～



B班「受け継がれゆくまちづくり」



D班「公園は誰のもの?」

II 実践報告 II

「自動走行システムを作ろう」

愛宕小学校 渡邊 乃恵

特別支援学級の特別活動「自動走行システムを作ろう」で、最後まで諦めずに問題解決に取り組み力をつけるために、プログラミング学習に取り組んだ。学年や能力、趣味もバラバラの四人の児童に対し、タブレットや車など、好きなものが共通して重なるアーテックロボならば、最後まで活動に取り組めるだろうと考えた。

まずは、スタディーノビットを利用して、進む、曲がる、止まるなど基本動作のプログラミングを学んだ。次に、広い教室にロボットカーが通れる道幅の地図を用意し、目的地にたどり着くためのプログラムを考えた。地図に合わせてプログラムを組み込むことに苦戦しつつも、「あと何秒タイヤを回したら、あの角を曲がれるかな。」「左右のタイヤの回転数を変えたら上手くいくんじゃない。」と相談しながら細かな調整を繰り返し、ロボットカーを目的地まで到着させることができた。

アーテックロボを活用することで、目の前にあるロボットが指示通りに動くかどうか視覚的に分かりやすくなる。興味がすぐに移ってしまいやすい児童たちも、「目的地に到着させたい」という意欲をもち動きを予測しながら粘り強く活動に取り組んだ。本実践を通して、問題解決に取り組み力を育むことができた。



II レッツ・トライ！情報モラル II

言葉や写真の伝わり方

藤川小学校 都築 あすか

小学4年生で、SNSによる相手とのすれ違いについて考える授業を行った。より実体験に近づけられるように、NHK for school「スマホリアルストーリー」から、「たった一言のちがいが…」を視聴することにした。

授業前、ほとんどの子供たちはSNSを使ったことがあり、そのやりとりを「楽しい」ものだと感じていた。そこで、番組を視聴した後、送られた相手の気持ちについて問いかけた。すると、子供たちは「怖い」や「嫌な気持ち」など口々に答え、SNSに隠れている「怖さ」に気づくことができた。子供たちが手軽に疑似体験できることが、NHK for schoolを使う良さである。その後、子供たちとその対処法について考えた。「目の前にないから気持ち伝わりにくくなる」「自分の想いが伝わる言葉選びが大切」「写真やメッセージは送る前に確認することが大事」など、スマホやタブレットなどの向こう側にいる相手のことを想像し、考える子供たちの姿があった。



NHK for schoolは身近にある問題を基に作られている。だからこそ、児童が真剣に考えるきっかけとなる。児童生徒の実情に合わせて活用することが大切だと感じた。

ライブラリーだより

令和6年度新規貸出用DVD教材の紹介

◇自殺防止

- ・君は、ひとりじゃない
- 対象 小学校中・高学年（約18分）
- ・SOSが届いたら
- 対象 指導者・保護者（約18分）

◇人権

- ・ジェンダースタディーズ 生理 全3巻
- 対象 小学校中・高学年（各巻約20〜30分）

◇交通安全

- ・あさりちゃんの自転車安全教室
- 対象 小学校低・中学年（10分）

◇防災教育関係

- ・うしわかまるの熱中症には気をつけて！
- 対象 小学生（11分）
- ・地しんだ！ボクが学んだ命を守る行動
- 対象 小学生以上・一般（約10分）

ここで紹介した教材も含め、様々な分野の教材を計13本購入しました。令和6年4月から貸出できるよう準備を進めています。皆様方の積極的な御利用をお願いします。

★編集後記★

実践報告やレッツ・トライへ毎月情報をお寄せいただきありがとうございます。

タブレットや電子黒板等といったGIGAスクール構想関係機器の活用や情報モラル対策など、視聴覚・情報教育に求められるものは引き続き多いですが、少しでも手助けになるよう来年度も充実した月報「視聴覚教育」を発行していきたいと思えます。よろしくお願いします。